

第3期 第6回 向日市子ども・子育て会議

○日 時 令和2年2月17日(月) 午後1時30分～午後3時

○場 所 向日市役所本庁舎 第7会議室

○出席者 (出席委員15名)

安藤和彦委員(会長)、今福友恵委員(代理:山本真理子様)、井上裕之委員、海東紗代子委員、風谷千賀子委員、加原ゆり委員、川村宗己委員、高山紀公子委員、田中久美子委員、田部千夏委員、福井千津委員、藤井一郎委員、松下有紀委員、宮地健一委員、余根田聡委員

(50音順)

(事務局10人)

【市民サービス部】

水上市民サービス部長、川本市民サービス部副部長、柴田健康推進課長、長谷川琢子
育て支援課長、荒賀子育て支援係長、中川子育て支援課主査

【教育部】

小賀野教育部長、鹿島生涯学習課長、吉岡学校教育課主幹

【株式会社 名豊】

神田 稔

○欠席者 (委員5人)

築山剛委員、辻千佳委員、津田陽委員、花安肇委員、和田泰徳委員

(50音順)

○傍聴者 1名

○議 題 第2期 向日市子ども・子育て支援事業計画(最終案)について

(議 事 内 容)

議題 第2期 向日市子ども・子育て支援事業計画(最終案)について

事務局	資料を用いて、第2期向日市子ども・子育て支援事業計画の最終案について説明。 (最終案についての主な質疑・意見)
委員	パブリックコメントの市の考え方について、「放課後の居場所を目的としたものではなく、放課後や学校休業中において、生活能力向上の訓練や創作活動を行う制度であり、ご意見として、今後施策の参考にしていただく」となっています。内容は質的向上をどのように行っていくのか、どこの施策に載せていくのかという事なのに、今後の参考にさせてもらうとなっていますが、基本施策3に入れるという事にならなかったのでしょうか。
委員	学校教育側の前回あった「生きる力」は、残しておいてほしい部分ですし、社会に開かれた教育課程が新たに上がってきていますので、地域全体で子育てする、地域に開かれているという事をもう少し明記してほしいです。 もう少し大枠の、新しい指導要領のイメージを記載してほしいです。
委員	50ページですが、妊娠期から育児にかかわるのではなく、育児にかかわるという事を妊娠期から準備する意味合いでそちらの方がいいと思います。
委員	親子で考える防災ですが、他市の防災マップを読んでもみると、持病を持っている子どものためのものを念頭においてあり、こんなことを用意しておいた方がいいなど、事細かに、子どもの症状に応じて、具体的な子ども、病人に対しての防災マップにしてほしいと思います。
委員	基本施策2の育児・介護休業制度の普及啓発ですが、制度を利用促進するのは、企業に対してですか。労働者ですか。双方ともに啓発が必要だと思います。
事務局	たくさんの意見ありがとうございます。今日のこの場で、放課後等デイサービスのこともあります。計画自体が、市としての計画です。市としてできにくい部分は、連携して取り組んでいくなど、多様な記載となっています。 昨年作った防災マップは、これまでは市役所の中で知恵を出して作りましたが、昨年は市民にも入っていただき、ワークショップの形で、わかりやすさなどの知恵をだしてもらい作成をしました。いただいた意見も

	十分に検討しながら、備えは大切だと思っています。
委員	質の向上は課題であると保健所も認識をしています。質の向上を図るのには、指導監査を定期的に行っていますし、保護者から相談がありましたら、内容の確認、是正、指導を行っています。質の向上は、支援計画の事業所と連携をして行っていきたいと思います。
委員	幼児教育という事を後方的に捉え、保育所、幼稚園を含めて、この質の担保をどのようにしていくのかを念頭に置いてもらいたいと思います。
会長	他にご意見ございますか。第6回の会議を経て、計画の策定を行ってきました。大幅な変更はできませんが、誤字脱字等はできます。事務局預かりとします。
	これをもって、第2期向日市子ども・子育て支援事業計画にさせていただきますと思います。委員には1年間、計画策定に携わっていただき、ありがとうございます。これをもって終了します。事務局より連絡事項はありますか。
事務局	いただいた意見は、検討をさせていただきます。本日の会議をもって第2期向日市子ども・子育て支援事業計画策定に関する会議は終了いたします。計画策定にかかる会議は全6回行い、みなさんの貴重なお時間と意見をいただき、ありがとうございました。今後の会議は、策定した計画に対しての進捗状況を報告させていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。なお令和2年の会議は10月、3月に予定しています。詳細は後日ご連絡いたします。
	以　　上